

◆頑張っている人物やグループを
広報編集委員が紹介します。…担当/野村 土佐夫 文/島村 立法

舞台は商店街。まちはギャラリー。
あるときは嫁入り行列。
写真は色あせたけど
大勢の人パワーで七色変化

おんちゃんも
おばちゃんも、お客さまも大活躍
赤岡横町商店街
冬の夏祭り実行委員会



この日、商店街で本当に
結婚式が執り行われた



今年も12月4・5日に冬の夏祭りが行われます。
出会いと寛ぎ、手作りであったかい、みんなで作る
奇想天外なお祭りです。

商店街が輝く日

赤岡町の冬の風物詩になった「冬の夏祭り」は、商店街の活性化を目的に始められ、今年で16回目を迎えます。多くの皆さんに支えられてきたことから、今では県外の方にも口コミで評判になるほどのお祭りになってきました。

毎年のように、実行委員会は、大勢の人の手を借りて、店主と町ぐるみで「手作りの人祭」を展開し、一人ひとりがアイデアを出し、お金をかけない祭りを目指しています。

祭りが近づくくと委員会では、看板作りや、チラシ作り、空き店舗などの交渉、フリーマーケットの出店の取りまとめなど、準備に追われています。祭りの前日辺りからは、委員会以外のお助けマンも毎回来て手伝っています。

会長の谷岡さんは「この祭りはまちの人たちもお助けマンもお客様もみんなが主役です。わくわくどきどきする感動をみんなで作り上げたい」と思いを込められました。

むねの振りがナルナル

今年も、「むねの振りがナルナル」がテーマです。毎回祭りのテーマを考

あるとき、お客さんのため道にこたえを出したらみんな大喜び。それから毎年こたえが道に並びだした。

え、学生や先生や作家さんたちの意見を聞き、昼夜を問わず奮闘しています。こたえでくつろぎ、さまざまなお祭り作家と歌や踊り、パフォーマンスにむねの振りが共鳴することでしょう。

おば・おじの願い

「私らあは若い人についていくに頼むわ」長年続けてきた実行委員の皆さんも高齢になり自分自身を支えるのが精いっぱいというのが現状です。座りたいたい・横になりたい・肩がこる・おかずを作りたくないの四点セット。そこで今回はおば・おじたちの願いを叶え、おかず屋横町ナルナル堂など、いろいろなお店と仕掛けを企画しているそうです。

赤岡は絵金蔵や弁天座・地酒・ちりめん・塩の道など古い歴史とまち並みもあります。ぜひ、祭りの日は、赤岡のまちを楽しんで歩いてみませんか。

■問い合わせ先
冬の夏祭り実行委員会事務局

☎55-3468 (おこや屋)



香美市立美術館・タマリン館・絵金蔵の生命をテーマとする連携企画

いのち
生命の記憶

田辺寿男 追悼写真展

絵金蔵では、田辺氏が残されたフィルムの中から赤岡町周辺の習俗を中心に展示、土間ホールほか、赤岡の町並みの中でご紹介いたします。



問い合わせ 絵金蔵 ☎57-7117

2010
11/6(土) - 12/19(日)

開催場所 絵金蔵・赤岡町商店街周辺
開館時間 9:00~17:00(入館は16:30まで)
休館日 月曜日
観覧料 絵金蔵と共通
一般500円 高校生300円
小・中学生150円